

謝辞

寒い中にも、あたたかい春の日差しが感じられるようになった今日の佳き日、また昨今の事情により様々な制約がある中で、このような心温まる卒園式を催していただき、誠にありがとうございます。本日、卒園を迎えます園児たちの保護者を代表し、僭越ではございますが、感謝の気持ちを伝えさせていただきます。

初めて、ちくみ幼稚園を訪れたあの日、お揃いのエプロンを身に付け、とても元気で明るい笑顔で接してくれた先生方がとても印象的で、迷いなく入園を決めたことを、今でもはっきりと覚えています。

当時は、まだまだ小さく不安ばかりだった子供たちも、日々の園生活や季節の行事などを通じて、今ではすっかり逞しい姿に成長し、保護者として大変嬉しく思っております。

運動会では、小さい組さんの時にブロック体操やおゆうぎで微笑ましい姿をみせ、さくら組さんでは、雨で重くなったバルーンでも、クラス一丸となつて一生懸命取り組んでいた演技には力強さを感じました。そしてうめ組さんでは、組立体操で真剣な顔で取り組む姿を見せてくれた子供たち。体も大きくなりましたが、砂だらけになりながらも一つ一つ頑張る姿がとても印象的でした。また、初めての学習発表会で、うめ組さんの合奏と合唱の素晴らしさに驚かされたあの日から三年。今度は自分たちの子供が、迫力のある合奏や、純粹で感性豊かな美しい歌声を披露する姿には、本当に感動いたしました。

そして、学期ごとの参観で、日課活動を見るだけでも子供の成長を感じていましたが、とあるつきみ参観の時、三年前はできずにくやし泣きをしていた我が子が、間違った答えでも堂々と手をあげ発言する姿に、他ではなかなか身に着けることが出来ない能力を手に入れたのではないかと感じ、心打た

れるものがありました。

こうした様々な行事や日々の園生活、どれを取っても日頃から熱心に指導してくださった先生方のおかげで、子供たちは素直で優しい子に成長し、クラスのみならず協力して一つのことを成し遂げることの大切さを学んだに違いありません。また、器楽、声楽、硬筆、音読の講師の皆様により、幼稚園のころから専門的な指導をうけることができ、とても貴重な経験になったと思います。

このような、本当に充実した園生活を送れたことは、園長先生をはじめ、すべての先生方が担任のように愛情深く見守り、時には厳しくご指導くださったおかげだと感謝しております。

また、行事役員の仕事を通じ、体育の先生、ストロベリークラブの先生、つみき教室の先生、バスの運転手さんを含めた全ての教職員の方々が、子供たちを裏で支えて下さっている様子を拝見し、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。この大切な幼児期を、ちくみ幼稚園で学ぶことができた子供達は、小学校へ行ってもその経験がきっと役立つことと思います。そしてちくみ幼稚園で得たものを、継続させることが私たち保護者の使命とし、子供たちと共にチャレンジすることを忘れず、色々なことに取り組んでいきたいと思っております。ここまで導いてくださった先生方、心より感謝申し上げます。

最後になりますが、ちくみ幼稚園の実り多い今後と、園長先生をはじめとする全教職員の方々、講師の方々、本日まで参列くださいました皆様方、そしてお子様方のご健康とご多幸をお祈りし、感謝の言葉とさせていただきます。

令和二年三月二十日

保護者代表

